

米原歴史街道

米原市の歴史・文化財を歩く 176

「福助さん」のルーツ

「伊吹艾本舗」「亀屋佐京」の番頭説

大きな頭と福耳で、袴着けて正座する「福助さん」。誰もが知っている福助さんですが、そのルーツは明確ではありません。ただ、旧柏原宿にその姿をとどめる伊吹艾本舗「亀屋佐京」は、福助さんの有力なルーツの一つです。「亀屋佐京」は現在も艾を商いとされていますが、艾で一家を興した初代佐京(天明二年〜嘉永三年/1782〜1850)は、持てる才覚で財を成し、文化六年(1809)には街道に面した広大な現在地を購入して屋敷を構えました。その「亀屋佐京」の忠実な番頭だったのが、福助さんでした。

福助さんは、店の家訓をよく守る正直者で、いつも袴を着け、扇子を手放さず、道行く旅人に手招きして艾をすすめ、商売が繁盛したといわれています。福助さんが亡くなると、大小の商いに関係なく丁寧に対応する福助さんの姿は商売の鏡であるとして、大きな福助像を店舗に設えました。現在も「亀屋佐京」の店内には、天井までとどきそうな大きな体の福助さんが、往來を眺めています。

また、伊吹艾本舗「亀屋佐京」の店舗風景は、浮世絵師の歌川広重によって天保六年(1835)〜1837(頃)に『木曾海道六十九次』の「柏原宿」として描かれており、店

内には福助さんが現在と変わらぬ姿で存在しています。

福助さんは、一般に江戸時代の文化文政期(1804〜1830)頃に誕生したと考えられていますが、伊吹艾本舗「亀屋佐京」の福助さんも、「亀屋佐京」の歴史や広重の『木曾海道六十九次』に描かれていることなどを考えると、やはりそのルーツは文化文政期頃と考



歌川広重が描いた「柏原宿」には亀屋佐京店が描かれ、右端には福助人形が居る。



古式の福助人形を集めた「福助さん大集合」

えてよいでしょう。こうしたことから柏原宿歴史館では福助さんの収集に努めており、これまでも本館2階に「福助の間」を設けて福助人形73点のほか福助が描かれている引札などを展示してきました。さらに、令和元年に古式の福助人形を中心とする多量の資料をご寄託いただいたのを期に、132点の福助人形を加えて、合計205点からなる「福助さん大集合」を常設展示しています。

なお、福助さんのルーツには、京都の呉服屋大文字の主人説、摂津の百姓佐太郎説など諸説あり、福助さんは町人文化が花開いた文化文政期の申し子と言えるのかもしれない。

(柏原宿歴史館)

消費生活相談コーナー

外国から頼んでない商品が届いたが・・・

心当たりのない差出人不明の国際郵便が届いた。中身が何かはわからない。どうしたらよいか。

消費生活相談員より一言



一方的に商品(荷物)を送り付け、代金を請求する商法(ネガティブオプション)の場合、商品は直ちに処分できますが、贈答品の可能性もあるので家族や心当たりのある人に確認しましょう。誰も送っていないようであれば個人情報悪用されている可能性があり注意が必要です。また、未開封であれば配送業者に引き取ってもらえる場合もあります。

「おかしいな」と思ったら、一人で悩まず、まずは消費生活相談窓口へご相談ください。

市 消費生活相談窓口(本庁舎)

相談専用 ☎53-5110

(受付) 平日 9時30分〜16時

米原警察署情報

☎ 米原警察署 ☎52-0110

秋の全国交通安全運動の実施

9月21日(土)〜9月30日(月)

- 反射材用品等の着用推進や安全な横断方法の実践等による歩行者の交通事故防止
- 夕暮れ時以降の早めのライト点灯やハイビームの活用促進と飲酒運転等の根絶
- 自転車・特定小型原動機付自転車利用時のヘルメット着用と交通ルール遵守の徹底
- 横断歩道利用者ファースト運動の推進(滋賀県重点)



令和6年市内交通事故数(7月末時点)

件数 32件(−4件) 死者 0人(−2人)
傷者 46人(−1人) ※()内は前年比